

年 組 名前:

四則演算ゲームを開発



子どもの健全育成や支援に
取り組む中央市のNPO法人
「Foster Part ner(フオスター パートナー) (福元秀代表理事) は、
四則演算を使ったインターネット
ゲームを開発した。市内
には外国籍の住民が多いこと
から、日本語、英語、ポルト
ガル語の3カ国語に対応。同
法人のホームページで無料
提供している。

ゲームは、ランダムに選
れた5枚のカードに書かれた
数字を使い、四則演算で「タ
ーゲット」として提示された
数字にするまでのタイムを競
う。1人でも遊べるが、人
よって異なる解き方ができ
るため、複数人で話し合いな
がら遊ぶことを勧めている。ゲ
ームを通して、柔軟な発想や
自然な対話の創出を目指す。
「困難に思える問題も、視

中央市のNPO 世代・国籍超え交流を



点を変えれば幸せにたどりつ
ける」との思いを込め、幸運
の象徴とされる「四つ葉のク
ローバー」から、ゲームは「C
LOVER(クローバー)」、
と名付けた。

福元代表理事は、近年の在
宅勤務の普及や生活様式の変
化により、家族が同じ空間に
いる時間が増えているとし
「一緒に過ごす時間の質が問
われている」と指摘。世代や
国籍を超えた「コミュニケー
ションを促そうと、ゲームを考
案した。「ゲームをきっかけ
に、多世代で楽しさを共有す
る大切さを発信していきたい
」と話している。

〈皆川陽登〉

インターネットゲーム「CLOVER(クローバー)』
について説明する福元秀代表理事
＝中央市内

(2026年6月17日付 山梨日日新聞 17面)

問1 中央市のNPO法人が、四則演算を使ったインターネットゲームを開発しました。

対応している言語を、すべて答えてください。

.....

問2 ゲーム名を「CLOVER(クローバー)」とした理由を答えてください。

.....

問3 福元代表理事は、どのようなことから、どうすればよいと考えて開発しましたか。

どのようなこと:.....

どうすればよい:.....